

資料 1

I 調査概要

1 調査の目的

子育ての現状や子育て支援に対するニーズ等を把握し、「第2期始良市子ども・子育て支援事業計画」の中間見直しに向けた基礎資料とすることを目的とする。

2 調査内容

(1) 調査内容

平成25年8月に国が示した「子ども・子育て支援法に基づく基本指針の概ねの案について」における別紙4「調査票のイメージ」の設問項目を基に作成した調査票により実施した。

(2) 調査時期

令和4年8月～9月

(3) 調査対象

- ・就学前児童調査 就学前児童の保護者
- ・小学生調査 小学生（1年生～4年生）の保護者

(4) 調査方法

郵送調査（郵送配布・郵送回収）

3 回収数及び回収率

調査対象	就学前児童調査	小学生調査
配布数	2,000	1,000
回収数	1,023	489
回収率	51.2%	48.9%

【参考】前回調査（平成30年度）

調査対象	就学前児童調査	小学生調査
配布数	2,000	1,000
回収数	1,093	514
回収率	54.7%	51.4%

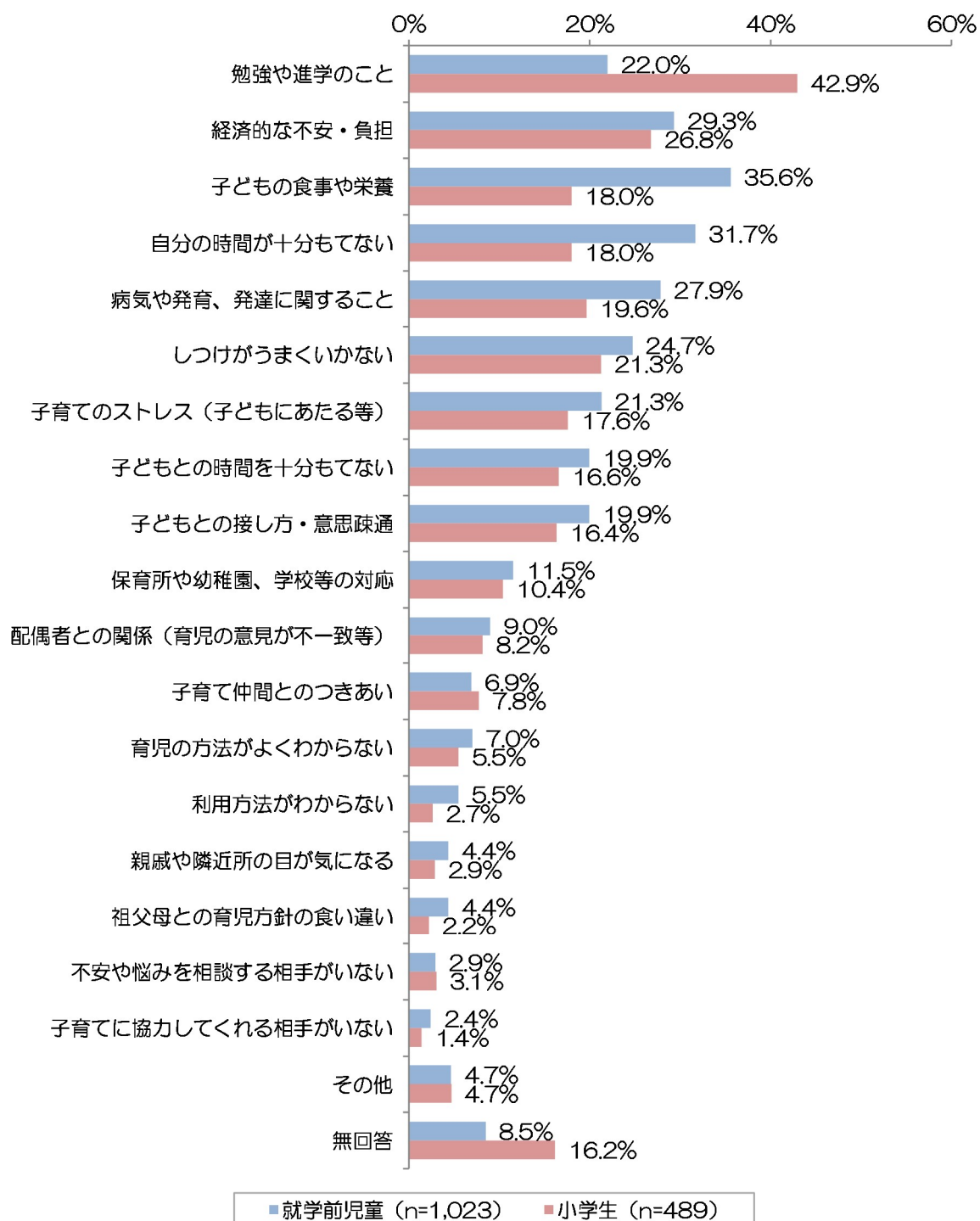
Ⅱ 調査結果概要

1 子育てに関する相談や情報入手に関する状況

(1) 育児における悩み

育児における悩みについて、就学前児童調査では、「子どもの食事や栄養」「自分の時間が十分もてない」「経済的な不安・負担」の順に多い。小学生調査では、「勉強や進学のこと」が4割を超え、突出して高くなっている。

・育児における悩み【複数回答】



（２）子育てに関する相談先や情報入手先の有無

「子育てに関する悩みや不安を気軽に相談できる先」や「子育てに関する情報の入手先」について、就学前児童調査、小学生調査ともに「ある」の割合が大多数を占めており、「相談相手はいない」「誰にも相談しない」「情報の入手先はない」といった回答は少数となっている。

・子育てに関する相談先や情報入手先の有無

項目	調査種別	回答内容	前回	今回	評価
子育てに関する悩みや不安の 気軽な相談先の有無	就学前児童	ある	96.4%	96.8%	⇒
		ない	0.7%	0.9%	⇒
		誰にも 相談しない	1.0%	1.3%	⇒
	小学生	ある	94.3%	95.5%	↑
		ない	1.8%	1.2%	⇒
		誰にも 相談しない	2.3%	1.2%	↑
子育てに関する情報入手先の 有無	就学前児童	ある	97.0%	97.7%	⇒
		ない	1.3%	1.0%	⇒
	小学生	ある	96.9%	95.7%	↓
		ない	1.4%	2.0%	⇒

※「情報入手先がない」には、「入手方法がわからない」を含む。

評価については、1ポイント以上改善した場合「↑」、1ポイント以上悪化した場合「↓」、それ以外を「⇒」とする（以下同様）

2 特に支援を要する子育て世帯の状況

(1) 子どもが病気等で幼稚園や保育園、学校等を休んだ場合や、保護者の用事等で子どもの世話ができなかった際に、子どもだけで留守番をさせたケースの発生状況

子どもが病気等で幼稚園や保育園、学校等を休んだ場合や、保護者の用事等で子どもの世話ができなかった際に、仕方なく子どもだけで留守番をさせた割合について、「夜間や休日の日中」が最も割合が高くなっている。

前回調査との比較が可能な項目においては、改善傾向がみられた。

・子どもだけで留守番をさせたことがある割合

項目	調査種別	前回	今回	評価
直近1年間に、子どもが病気やケガで幼稚園や保育所、学校等を利用できなかったことがあった世帯のうち、仕方なく子どもだけで留守番をさせたことがある割合	就学前児童	0.6%	0.6%	⇒
	小学生	7.2%	3.5%	↑
直近1年間に、保護者の用事により、子どもを家族以外に泊まりがけでみてもらわなければならないことがあった世帯のうち、仕方なく子どもだけで留守番をさせたことがある割合	就学前児童	2.3%	0.0%	↑
	小学生		1.8%	
直近1年間に、保護者の残業や急用等を理由に、子どもを家族以外に、夜間や休日の日中にみてもらわなければならないことがあった世帯のうち、仕方なく子どもだけで留守番をさせたことがある割合	就学前児童		2.0%	
	小学生		16.9%	

※斜線の項目については、今回調査より新たに追加された調査項目であるため、前回は値はない。

(2) 経済的生活困難の発生状況

過去1年の間に経済的な理由で支払いや購入ができなかったことがあったものについて、「あてはまるものはない」と回答した割合は、就学前児童調査 83.7%、小学生調査 81.4%となっている。

支払いや購入ができなかったことがあったものについては、「衣類」「食料」「文具・教材」の順に多くなっている。

前回調査と比較して、就学前児童調査において改善傾向がみられた。

・過去1年の間に経済的な理由で支払いや購入ができなかったことがあったもの 【複数回答】

項目	就学前児童調査			小学生調査		
	前回	今回	評価	前回	今回	評価
あてはまるものはない	78.5%	83.7%	↑	81.4%	81.4%	⇒
電話料金	2.6%	2.1%	⇒	1.4%	2.5%	↓
電気料金	2.2%	2.3%	⇒	2.2%	3.1%	⇒
ガス料金	2.3%	1.8%	⇒	2.0%	2.7%	⇒
水道料金	1.5%	1.9%	⇒	2.0%	2.2%	⇒
家賃	2.4%	2.0%	⇒	2.2%	1.8%	⇒
食料	12.4%	10.4%	↑	10.7%	11.7%	↓
衣類	18.6%	12.3%	↑	15.0%	14.9%	⇒
文具や教材	10.3%	7.1%	↑	6.8%	6.5%	⇒

※「食料」「衣類」「文具・教材」については、「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」のいずれかに回答した割合を示す。

3 始良市の子育て環境や支援に対する認知度・満足度

(1) 子育て支援サービスの認知度

子育て支援サービスの認知度について、就学前児童調査、小学生調査ともに「ショートステイ事業」の認知度が最も低くなっており、「ショートステイ事業」及び就学前児童調査の「家庭児童相談室」は、認知度が5割を下回っている。

前回調査と比較して、最も認知度が上昇したサービスは、就学前児童調査の「ショートステイ事業」(8.9ポイント)、最も低下したサービスは、小学生調査の「ファミリー・サポート・センター」(▲7.1ポイント)となっている。

・子育て支援サービスの認知度【就学前児童調査】

サービスの種類	前回	今回	評価
妊婦健康診査	91.9%	91.6%	⇒
新生児訪問	90.9%	90.9%	⇒
母子保健推進員訪問	84.8%	84.9%	⇒
健康相談	88.8%	90.2%	↑
離乳食教室	83.0%	82.9%	⇒
ファミリー・サポート・センター	65.6%	62.1%	↓
ショートステイ事業	25.3%	34.2%	↑
休日保育	44.1%	52.1%	↑
一時保育（一時預かり）	69.0%	76.2%	↑
病児・病後児保育	79.6%	85.9%	↑
地域子育て支援センター	82.3%	84.6%	↑
家庭児童相談室	44.6%	44.7%	⇒
図書推進活動	72.0%	70.7%	↓

・子育て支援サービスの認知度【小学生調査】

サービスの種類	前回	今回	評価
ファミリー・サポート・センター	72.3%	65.2%	↓
ショートステイ事業	24.6%	29.2%	↑
図書推進活動	78.4%	74.4%	↓
病児・病後児保育	76.6%	76.5%	⇒
家庭児童相談室	60.8%	59.7%	↓

(2) 子育て支援サービスの利用満足度

子育て支援サービスの利用満足度について、最も満足度が高いサービスは、就学前児童調査の「妊婦健康診査」(96.8%)となっている。

前回調査と比較して、最も満足度が上昇したサービスは、就学前児童調査の「家庭児童相談室」(16.1ポイント)となっている。

・子育て支援サービスの利用満足度【就学前児童調査】

サービスの種類	前回	今回	評価
妊婦健康診査	96.5%	96.8%	⇒
新生児訪問	91.5%	92.1%	⇒
母子保健推進員訪問	85.5%	83.9%	↓
健康相談	89.9%	93.2%	↑
離乳食教室	93.3%	96.7%	↑
ファミリー・サポート・センター	87.8%	94.1%	↑
ショートステイ事業(参考)※	100.0%	80.0%	↓
休日保育	75.0%	89.3%	↑
一時保育(一時預かり)	83.2%	90.8%	↑
病児・病後児保育	89.0%	85.5%	↓
地域子育て支援センター	91.2%	93.0%	↑
家庭児童相談室	76.2%	92.3%	↑
図書推進活動	97.2%	96.6%	⇒

・子育て支援サービスの利用満足度【小学生調査】

サービスの種類	前回	今回	評価
ファミリー・サポート・センター	96.4%	92.9%	↓
ショートステイ事業			
図書推進活動	97.8%	98.0%	⇒
病児・病後児保育	85.7%	97.9%	↑
家庭児童相談室	71.4%	81.8%	↑

※「満足」「ほぼ満足」のいずれかに回答した割合を満足度とし、無回答は除外した。

ショートステイ事業については、就学前児童調査は回答者が少ないため参考値とする。小学生調査では回答者がいなかった。

(3) 放課後児童クラブの利用満足度

子育て支援サービス利用者の利用満足度について、前回調査と比較して、「総合的な満足度」に変化はみられないが、多くの項目において満足度が上昇している。

・放課後児童クラブの利用満足度【小学生児童調査】

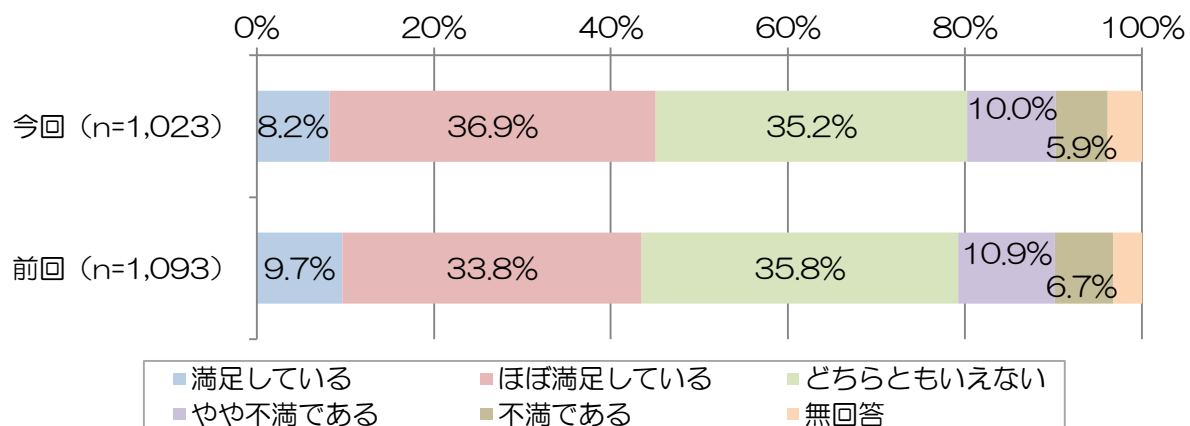
サポートの種類	前回	今回	評価
施設・設備	76.3%	82.4%	↑
利用できる曜日や時間	89.6%	92.2%	↑
利用できる学年	83.7%	90.8%	↑
職員等の配置状況（人員体制）	89.6%	95.4%	↑
子どもへの接し方・指導内容	89.6%	89.5%	⇒
病気やケガの時の対応	93.3%	94.1%	⇒
保護者への情報伝達	85.9%	92.2%	↑
事故防止や災害時避難等の安全対策	85.9%	92.1%	↑
総合的な満足度	91.1%	91.1%	⇒

※「満足」「ほぼ満足」のいずれかに回答した割合を満足度とし、無回答は除外した。

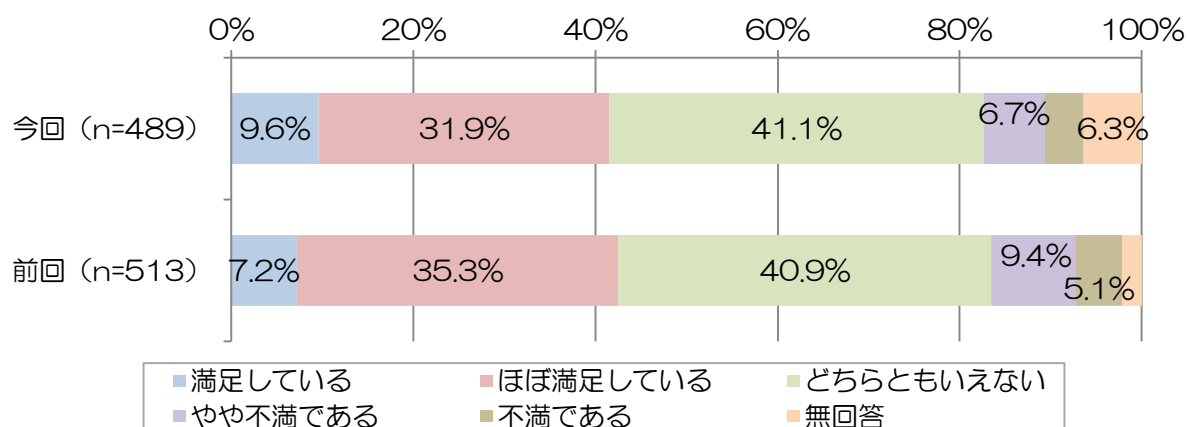
(4) 子育て環境や支援への満足度

始良市の子育て環境や支援に対する満足度について、前回調査からの大きな変化はみられなかった。

・ 始良市の子育て環境や支援に対する満足度【単一回答・就学前児童調査】



・ 始良市の子育て環境や支援に対する満足度【単一回答・小学生調査】



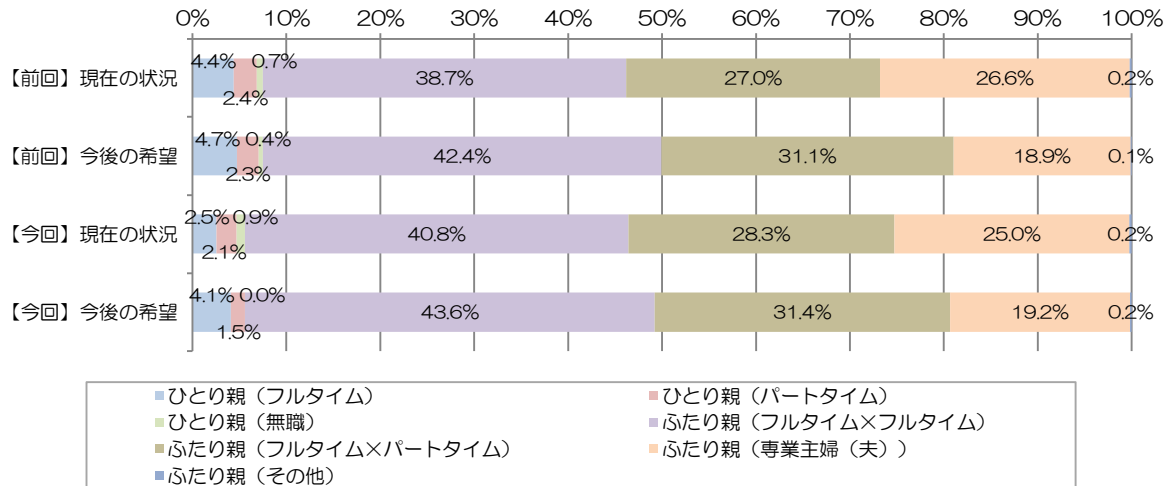
4 保育等サービスに対するニーズ

(1) 現在の就労状況及び今後の就労希望状況

現在の就労状況及び今後の就労希望状況について、家庭類型による分析を行った。

「現在の状況」と比較して、「今後の希望」における「ふたり親（専業主婦（夫）」の割合が低く、「ひとり親（フルタイム）」や「ふたり親（フルタイム）」、「ふたり親（パートタイム）」の割合が高くなっていることから、新規就労やパートタイムからフルタイムへの転換の希望を持っている保護者が一定数存在していると考えられる。

・家庭類型分類結果【就学前児童調査】



(2) 保育等サービスに対するニーズ

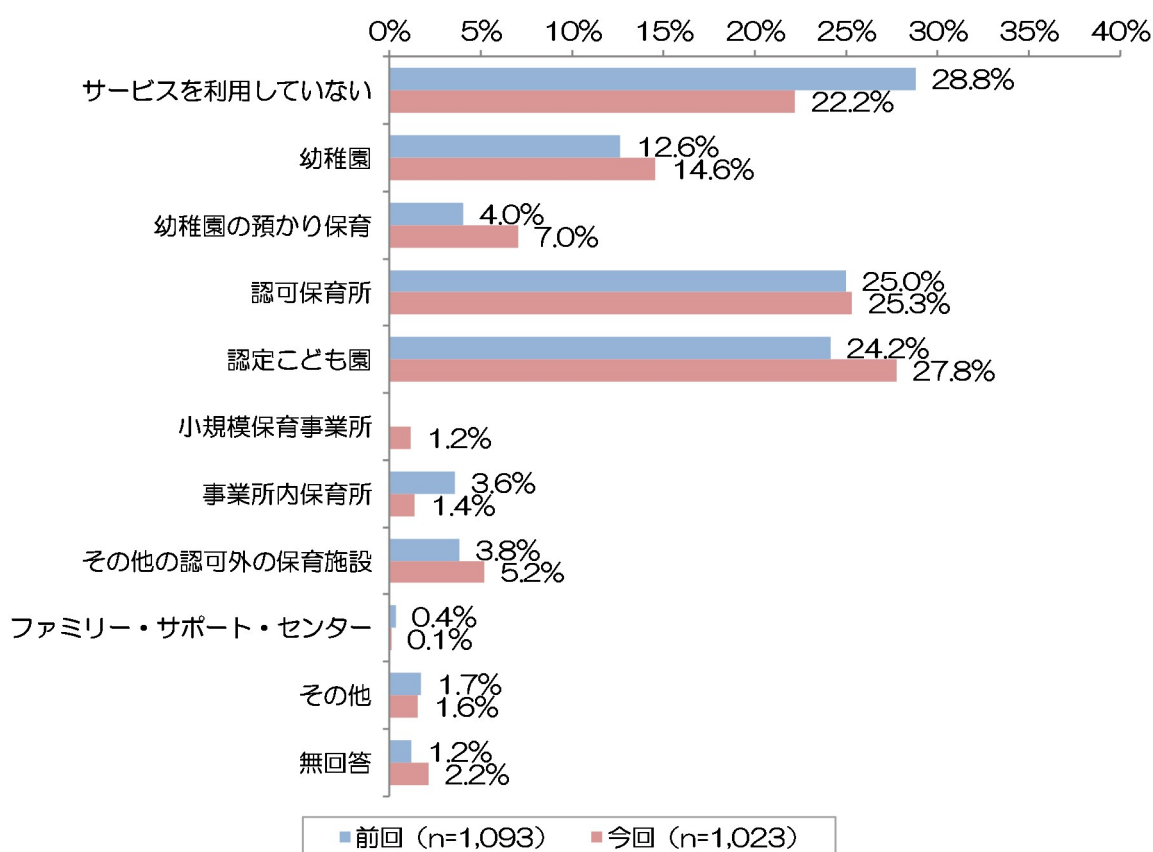
保育等サービスに対するニーズについて、現在、8割近くが「サービスを利用している」と回答しており、利用しているサービスについては、「認定こども園」「認可保育所」「幼稚園」の順に多くなっている。

「今後の希望」については、「認定こども園」「認可保育所（私立）」「認可保育所（公立）」が上位に挙げられている。

前回調査と比較して、希望する割合が最も上昇したのは、「その他の認可外の保育施設」（3.9ポイント上昇）であり、最も低下したのは「認可保育所（公立）」（6.5ポイント低下）である。

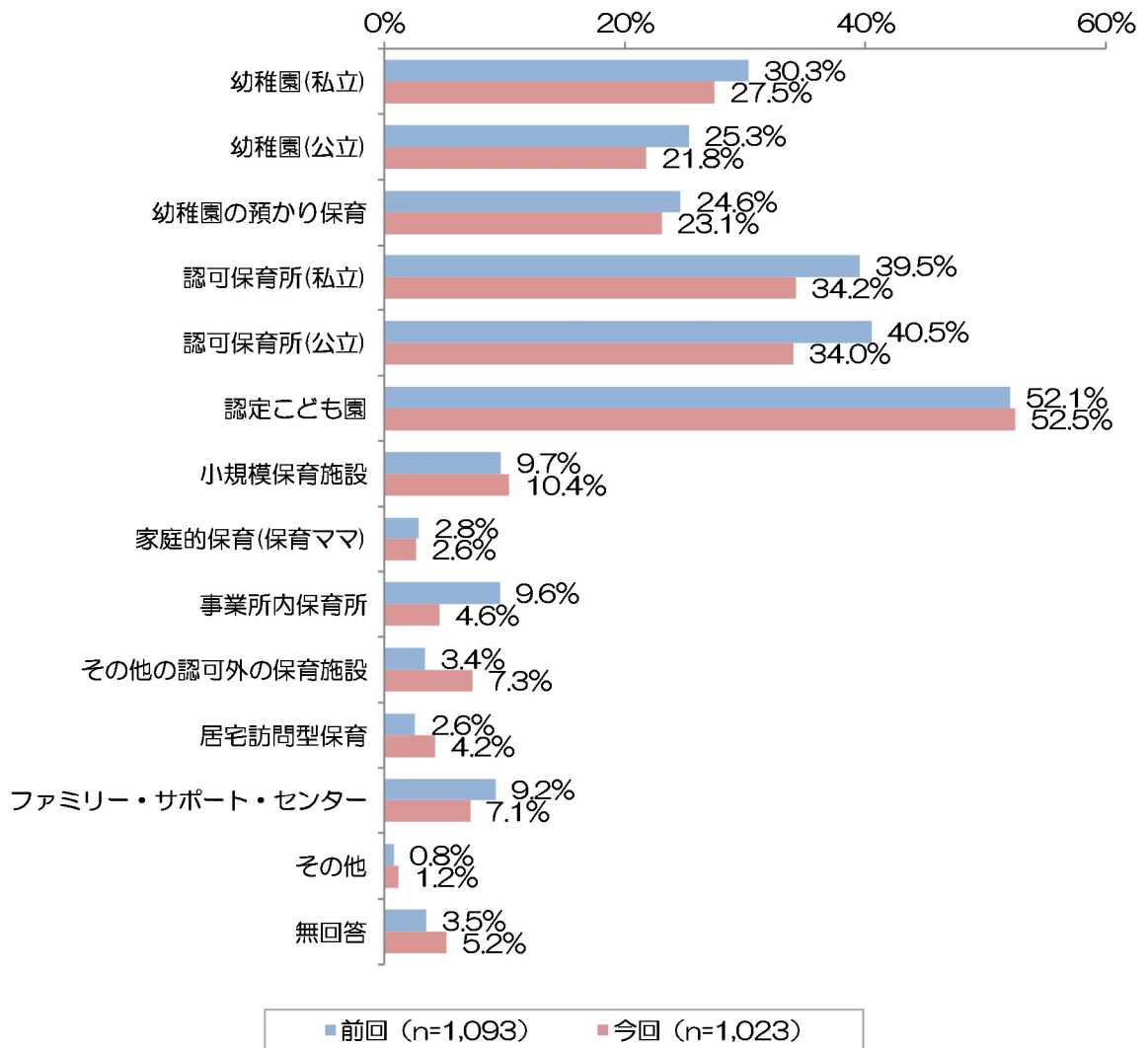
・平日の定期的な幼稚園や保育園等のサービスの利用状況

【複数回答・就学前児童調査】



※小規模保育事業所については、今回調査より新たに追加された調査項目であるため、前回は値はない。

・平日に定期的な利用を希望する幼稚園や保育園等のサービス
【複数回答・就学前児童調査】



5 始良市の子育て支援に対する意見

(1) 始良市に求める子育て支援策

始良市に充実を図ってほしい子育て支援について、就学前児童調査では、「子ども連れでも安心して出かけられる子育てに配慮した社会環境づくりを進める」「子どもが自主的に参加し、自由に遊べ、安全に過ごすことのできる居場所づくりを進める」「保育所や幼稚園にかかる費用負担を軽減する」の割合が高くなっている。

小学生調査では、「子どもが自主的に参加し、自由に遊べ、安全に過ごすことのできる居場所づくりを進める」「子ども連れでも安心して出かけられる子育てに配慮した社会環境づくりを進める」「事業所に対し、育児休業や看護休暇制度の普及等の啓発に努め、仕事と子育てが両立しやすい職場環境づくりや仕事と家庭生活の均衡のとれた多様な働き方を促進する」の割合が高くなっている。

・始良市に充実を図ってほしい子育て支援【複数回答】

